

令和6年度神奈川県肉豚共進会が開催されました

(一社)神奈川県養豚協会が主催する令和6年度 神奈川県肉豚共進会が、横浜市中心卸売市場食肉市場で開催され、5月15日(水)に生体の部、5月17日(金)に枝肉の部が審査されました。畜産技術センターからは、所長が審査長、普及指導課職員が審査員を務め、その他各関係機関とともに共進会の運営に協力しました。

共進会には去勢・雌を1組として100組 200頭が出品されました。生体の部、枝肉の部でそれぞれ審査・採点され、去勢・雌の総合成績から順位を決定しました。

今年も各農場から選び抜かれた肉豚が出品されました。生体の部では、関節炎と育ちすぎで3頭が低評価になってしまいましたが、それ以外の出品豚は体型の揃った健康な肉豚で高評価となりました。枝肉の部では、13頭(去勢5頭、雌8頭)が最上位である極上に格付けされるレベルの高い共進会となりました。中でも名誉賞に選ばれた枝肉は肉量に富み、腿の張りや赤肉と脂肪のバランスに優れた抜群に良い枝肉でした。名誉賞を受賞した生産者が出荷する枝肉は、日頃から食肉市場で高く評価されており、今回の共進会でも、日々研鑽を重ねてきた肉豚選抜の正確さや飼養管理技術の高さを遺憾なく発揮した結果となりました。

枝肉の部の審査当日は多くの生産者が来場し、各農場の枝肉を比較しながら活発な意見交換が行われました。

その後のセリでは、名誉賞の枝肉は、去勢4,100円/kg、雌4,180円/kgの高値で競り落とされ、会場から盛大な拍手が送られました。

畜産技術センターは、今後とも出品された豚の体型や枝肉の形状の評価をふまえ、各農場の豚肉生産技術向上の支援に努めていきます。



↑ 生体の部で審査をしているところ



↑ 名誉賞を受賞した枝肉 (左:去勢、右:雌)